

◆贈呈式の様子は、「Angkor CableTV」のニュース番組で全国放映されました。

■セアン・ナム国会議員の挨拶

大江電機様！カンボジアのために沢山の校舎を建てていただきありがとうございます。SSFCの教育支援には心から感謝します。「先生の指導力の向上」は今のカンボジアの教育に一番必要なことです。

ここに集まった皆さん！お礼を言いましょ！日本人はよく勉強し真面目に働くから、今の繁栄がある。昔は戦争に負けて貧しい時代もあった、カンボジアも同じだ。日本を見習ってしっかり勉強しよう。分校も出来てよかった。さらに勉強してください。親も子どもを学校に行かせてください。

■ビボケイ分校看板の除幕式が行われました。

大江社長とセアン・ナム国会議員でビボケイ中学の先生手作りの丸太板にロープで書いた文字を張り付けた「バクコン高校ビボケイ分校」の看板の除幕式を行いました。



除幕式

■テープカット：

議員と大江社長を先頭にして、新校舎使い始めのテープカットをしました。州・郡教育長・郡長・村長・SSFC・大江電機様一行も全員が行いました。



テープカット



SSFC建設校舎プレートを入口上部の壁に据付。



2019/11/02

◇ご支援をお願いいたします。


教育環境を整え、貧しい子に教育の機会を提供し、先生に指導力の向上のお手伝いをしています。SSFCの活動へのご支援をお願いいたします。寄附金のお振込みは、右記からお願いいたします。

- 三菱UFJ銀行 神保町支店  
口座番号(普) 0968555
- ゆうちょ銀行 00110-2-767497  
口座名: 公益社団法人 SSFカンボジア

詳しい解説・近況報告はSSFCホームページに掲載(ホームページ: <http://www.ssf.or.jp/>)しております。ぜひご覧ください。右のQRコードからもアクセスできます。お問い合わせは、TEL: 03-6272-5717 FAX: 03-3511-5019 E-mail: [info@ssf.or.jp](mailto:info@ssf.or.jp)



※活動内容の報告(バックナンバー)はホームページ「<http://www.ssf.or.jp/>」にも掲載されますので、ぜひご覧ください。



SSFC  
Cambodia

ញីម によにゅむは、カンボジア語で「笑顔」という意味です。

# によにゅむ通信

2019年11月号 No.23

公益社団法人  
Sumita Scholarship Foundation, Cambodia  
(SSFC) 代表理事 住田平吉  
〒101-0051  
東京都千代田区神田神保町2-44  
第二石坂ビル502  
TEL: 03-6272-5717 FAX: 03-3511-5019  
E-mail: [info@ssf.or.jp](mailto:info@ssf.or.jp)  
ホームページ: <http://www.ssf.or.jp/>

◆スレイ・ビボケイ中学校「校舎贈呈式」・「バクコン高校分校開校式」が盛大に行われました。



完成した校舎と大江電機の皆様・先生・生徒たちで記念写真

分校開校宣言証が交付された

2019年11月2日(土)シェムリアップ州バクコン郡ビボケイ中学校で、校舎建設の支援者である横浜の大江電機株式会社大江社長様と社員一行7名様をお迎えして、ビボケイ中学校校舎贈呈式・バクコン高校分校開校式が盛大に行われました。朝9時、大江社長様一行とビボケイ中学に着きました。シェムリアップ州選出セアン・ナム国会議員もすでに来ていて、入場が始まりました。民族衣装を着た生徒の太鼓・歌・踊りに先導され、全校生徒、全村人に迎えられて、新装なった石畳の上を歩き、完成した校舎の前の大テントの式場舞台に入りました。舞台は、前日までに先生と生徒全員で絨毯を引き詰め、柱は紅白の布で、舞台の袖はひだを付けた黄色の布で飾り付けられ、先生と生徒の手作りの舞台とは思えないほど立派に出来ていました。

贈呈式はお坊さんの読経から始まりました。お坊さんに渡すお供物も先生手作りの心がこもったものでした。贈呈式は和やかな中にも厳粛に行われ、村人・生徒が注目する中、セアン・ナム国会議員からカンボジア政府・国民を代表して大江社長に外国人に贈る最高の勲章“ロイヤル・モニサラポン大十字章”と感謝状が渡されました。

◆バクコン高校プロン・プレン校長が、ビボケイ分校開校を宣言！

「ビボケイ中学の生徒は勉強が良く出来る！更に、この分校で優秀な生徒を育てて欲しい。」

引き続き分校開校式が始まりました。「分校開校宣言証」をバクコン高校長が読み上げた後、州教育長から分校長(ビボケイ中学のブンコン校長)に渡され、正式に「バクコン高校ビボケイ分校」が中学校内に開校しました。

式典に参加している新入生(1年生)は、先生方の熱意と親の喜び・協力がああり、47人の新入生が集まりました。親も生徒も大喜びでした。

長年の夢が実現したのです。



バクコン高校長・分校長・州教育長

大江社長に勲章と感謝状の授与



大江光正社長とセアン・ナム国会議員



喜ぶ村人と生徒たち

ホームページ: <http://www.ssf.or.jp/>



◆感激の式典が始まった。民族衣装を着た生徒の歌と踊りに先導されて雰囲気は一段と盛り上がった！

■校門で、生徒手作りのランの花の腕輪で歓迎された。

両側には中学3年生が並んで拍手で出迎える。テントの中は500人を超える村人・中学生・分校の1年生で一杯。日雇いの仕事を休んで出席してくれた貧しい村人も多い。参加者全員が大きな拍手で私たちを迎えてくれた。私語一つない会場から注がれた全員の顔には笑みが浮かんでいた。全員の目には深い感謝の心が宿っていた。会場は緊張した中にも、和やかな雰囲気と感謝の心が溢れていた。



■式はお坊さんの読経から始まりました。

大江社長、阿南様、セアン・ナム国会議員、そして私がみんなを代表してお坊さんの祝福を受ける。お坊さんが手に持った榊から神水が私たちに注がれた。読経が終わってお坊さんにお供物を手渡す。これは昨日先生たちが作った物で、布、飲み物、お菓子、お金などが入っている。



■カンボジア国歌斉唱、ピアノ合奏に感激して！

生徒6人がピアノでカンボジア国家を演奏する。音が揃った澄んだ音色が会場に響きわたった。その後生徒全員が綺麗な声で国家を斉唱した。音楽の授業が無いカンボジアでは滅多に見ない光景です。ここでもビボケイ中学の先生と生徒のレベルの高さを感じました。



■トーン・ブンコーン校長(分校長)挨拶：私が夢にも思わなかったことが実現した。

ビボケイ中学は2010年、先生6人生徒95人で始まった。2018年にSSFCが指導に入って2019年には、先生9人生徒310人に増えた。貧しい田舎の中学校でこんなに増えるとは夢にも思わなかった。SSFCは今回、大江電機様の寄附で立派な校舎5教室を支援してくれた。学校と地域全体の永年の夢だったバクコン高校の分校の開設にも協力してくれた。先生・生徒・村人・地域の人々、誰もが感謝しています。私たちににとって神様です。ありがとうございます。

■父母代表の挨拶：「皆様、ありがとうございます、としか言えません。嬉しいです。学校に行かせます。」

息子が喜んで学校に通っています。子どもたちに教育を受けさせたいです。貧しいですが、出来るだけの努力をします。

■先生を代表して、ソクン・リンダ先生

2018年スクール年度からSSFCに「生徒によくわかる授業の仕方」と「貧しい生徒に奨学金給付」をしてもらっています。私たちはわからなかった授業の方法が分かり、生徒もよくわかるので授業に活気があり楽しいです。生徒の成績も向上しました。けれども高校に行く生徒は毎年12～3人でした。成績が良くても高校進学を断念する生徒が多かったです。高校に行きたくても片道20Kmを歩いてはいけません。SSFCの協力によって2019年11月からバクコン高校ビボケイ分校が開校しました。私たちの永年夢が実現しました。親の皆さん子どもをビボケイ分校に通わせてください。



◆ここは、小・中・高校の揃った“教育村”になりました。

■シェムリアップ州サイ・チャ・スホン教育長の挨拶

SSFCの支援には心から感謝しています設備の良い綺麗な校舎とバクコン高校の分校も開設しました。皆さん嬉しいでしょう！しっかり勉強してください。高校が近くなったので親の皆さん、子どもを高校に通わせてください。

バクコン郡は田舎の貧しい地域ですが「カンボジア教育の夜明けは、このバクコン郡から始まる」と私は信じています。カンボジアには無い「先生としてのあるべき姿」「自分で考え、よくできる生徒」「先生と生徒が一体となった学校」をここに見ることができます。私も誇らしい気持ちでいっぱいです。

大江電機の皆さん、遠い日本から来ていただきありがとうございます。2012年にこのビボケイ中・小学校校舎2棟を建てて頂いた時、こんな田舎の学校に支援してくれる団体や人がいると感激しました。今回も設備の良い綺麗な校舎をありがとうございます。ここは小・中・高校の揃った教育村になりました。

■バクコン高校プロン・プレン校長からのお祝いの言葉

ビボケイ中学の生徒はよく出来る。授業にも集中している。中学で良い指導を受けてきている事が分かる。分校が出来て私も嬉しい。バクコン高校が遠くて来られなかった生徒も分校に通えるだろう。多くの生徒が入学して欲しい。分校の先生方へお願いします。優秀な生徒を沢山育てて欲しい。

「2019年11月1日、バクコン高校ビボケイ分校開校を宣言する」バクコン高校長が、「ビボケイ分校開校証明書」を読み上げ、ブンコーン分校長に授与する。ここに正式に分校が開校されました。

■SSFC住田代表理事の挨拶  
先生の努力で生徒も成長、学校全体もよくなります！

ビボケイ中学の先生は、今日の授業で教えたことは今日の授業の中でわからせることを方針にお金を取って補習などを塾もしていません。こんな素晴らしい学校は、カンボジアでは聞いたことがありません。

良い指導には大変な努力が必要です。資料を作るのも教科書以外に参考となる物がありません。実験道具もありません。指導方法を教えてくれる人もいませんでした。ビボケイ中学の先生方は、SSFCの指導を忠実に守って、意欲的に授業に取り入れてくれました。設備の良い綺麗な教室が出来て良かったです。高校の分校が出来たことも嬉しいです！生徒の皆さん勉強を頑張ってください。



■大江電機大江光正社長の挨拶

私は、2012年にスレイ・ビボケイ小・中学校の校舎建設に始まり、カンボジアに6校の校舎を寄贈しています。私は今まで、贈呈式が終わると、その学校との接点が無くなり虚しさを感じていました。

今般、住田さんが公益社団法人を立ち上げスレイ・ビボケイ中学で先生の指導力向上支援をしていると聞き、昨年12月にSSFCの指導現場を視察しました。教室に入って私はびっくりしました。今まで見たことがない授業風景が繰り返られていました。先生が資料を作り、笑顔で熱心に教えているのです。生徒も真剣によく発言し授業に活気がありました。私はその時「この学校を重点的に支援しよう！」と決めました。新しい校舎も高校の分校も出来ました。先生も生徒も今まで以上に頑張ってください。

社員の方々から ○阿南宏司様：このように立派な校舎が出来たことは、とても嬉しい。生徒の皆さん一生懸命勉強してください。親の皆さん、子どもを学校に入れてください。勉強すれば幸せをつかむことが出来ます！ ○小山田俊様：ビボケイ中学の生徒の皆さん！皆さんの笑顔がとても良いです。皆さんの笑顔を見て「この学校は良い教育がされている」と思い、私も幸せな気持ちになりました。生徒の皆さん！校舎を大切に勉強してください。 ○勝俣久美子様：こんなにきれいで設備の良い校舎が出来て、私も嬉しいです。しっかり勉強してください。勉強すれば、良い未来が待っています。これからも応援します！ ○鈴木美保様：素敵な音楽と歌・踊りで迎えてくれてありがとう。私にとって素晴らしい経験でした。ありがとう！ビボケイ中学に来て良かったです！ ○境野舞子様：式典の会場に入場した時から感動しました。校舎贈呈式と分校の開校式に参加できてうれしいです。この立派な校舎で勉強を沢山してください。これからもこの学校に支援したいです。 ○沈思好様：ハロー、こんにちは。カメラマンを担当しているシンです。皆さんの笑顔に出迎えられて嬉しいです。この校舎で一生懸命勉強してください。

